

迎春

明るい未来に向けて



南九州市長

ぬるき
塗木

ひろゆき
弘幸

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、日頃より南九州市行政の円滑な運営にあたり、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、輝かしい令和4年の新春を健やかに迎えのことと心より喜び申し上げます。

南九州市が誕生して15年目を迎えました。今日まで南九州市は市民の皆さまの融和と一体感の醸成を図りながら、さまざまなまちづくりの施策を展開してまいりました。その間、市民の皆さまからの温かいご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

世界全体で爆発的にまん延した新型コロナウイルス感染症は、いまだ私たちの生命を脅かし、また、経済活動をも停滞させ、これまでの生活を一変させる大変な衝撃を与えています。

このような予期しない事態が発生する昨今におきましても、農業や地場産業の発展、観光の振興、社会基盤や生活環境の整備、健康・福祉の向上や教育・文化の振興など、南九州市総合計画に基づいた諸施策、さらには市の一大計画となる新庁舎建設について、市民の皆さまと一緒に取り組んでまいります。

結びに、本市に関係する皆さまの市政に対するご理解と一層のご支援を賜りますようお願いいたします。新年のごあいさつといたします。



持続可能な南九州市の構築に向けて 市民の皆さまに信頼される議会を目指して

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、新たな希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

また、市議会に対しましては、日頃よりご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて昨年は、史上初、1年延期で開催されました東京オリンピック・パラリンピックは、コロナ禍の世界に感動と勇気そして希望を与え、記憶に残る大会になったのではないのでしょうか。

一方、社会情勢は、一昨年来のコロナ禍に翻弄され、経済活動や市民生活が混乱と停滞を繰り返す中、ワクチン接種の進行により感染者数が減少傾向となっていました。新たなオミクロン株の発生により先行き不透明感は否めず、一日も早い収束を願うばかりであります。

本年12月には合併から15年の節目を迎えます。活力と魅力ある持続可能な南九州市の構築に向けて、初心を忘れず、市民の皆さまに信頼していただく議会を目指して、議会一丸となって議会活動に取り組んでまいります。

結びに、市議会に対しまして一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が市民の皆さまにとりまして幸多き良い年となりますようお祈り申し上げて、新年のごあいさつといたします。



南九州市議会議長

やました
山下 つきみ